

# 提 案 概 要

実施期日	8月2日(火)
部会名	中学校 特別活動部会

1 提案テーマ 『生徒の自治の力を育成する生徒総会 ～中心議題を通して～』

2 単元(題材) 後期生徒総会

3 学年 第1・2・3学年(全校生徒)

4 平成27・28年度神奈川県中学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

① 各内容に即した集団活動の在り方や望ましい人間関係の育成

5 学習指導要領との関連

第5章 特別活動 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

[学級活動] 2 内容 (1) 学級や学校の生活づくり ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決  
ウ 学校における多様な集団の生活の向上

[生徒会活動] 2 内容 (2) 異年齢集団による交流

6 実践に向けての課題意識

本校の学校教育目標は「鍛錬・感謝・意欲」である。そして学校経営の重点として、「生徒の自治の力を育成する」がある。これらは、学校が落ち着かず、反社会的な行動をとる生徒が少なからずいた4年前に「どういう子どもを育てたいのか」を職員で話し合い作り上げたものである。その成果があつて、現在学校は落ち着き、生徒たちは素直である。一方、教員の指示や要求によく応えるが、自ら動き何かを生み出すことには不慣れであり苦手としている生徒が多い。そのため、自治の力の育成を意識し取り組んだ。

7 実践の概要

前期(5月)、後期(11月)にそれぞれ1回、生徒総会を行っている。前期は生徒会会計や生徒会本部・各種委員会の活動方針の報告を行うが、後期はそれに加え「中心議題」の討論会を行っている。中心議題とは、その時の学校生活における課題や改善点を一つにしぼりテーマとする。ちなみに中心議題は2年前から始まり、平成26年度は「セーター・カーディガン姿で学校生活を過ごすことの是非」であり、平成27年度は「クラスで朝のあいさつ運動キャンペーン」についての討論を行い、自治の力を育成する機会を設けている。

8 成果と課題

〈成果〉

- ・生徒の意見や思いを発表する場を提供することができた。
- ・全校評議会、学級、生徒総会と各場面で(プレ)討論会を行ったことにより、様々な生徒が自分の意見や思いを発表する機会があった。
- ・テーマを通し、生徒一人ひとりが、よりよい学校生活や中学生のあるべき姿を考えることができた。

〈課題〉

- ・生徒の普段の生活に関わるような興味をもつことができるテーマ設定が困難である。
- ・討論会であるため、最終的な可否をどこが下すか模索中である。

9 予想される協議の柱

- ・自治の力を育成するための教育活動の具体例やしかけについて